

✕ 制作できない間取り図原稿 原稿不良例

パターン①: 不鮮明・真っ黒・窓や扉類の判読不可の原稿について

問題点 壁・扉・設備の形状や文字などが不鮮明で判読できません。

改善案

- ・スキャン時の解像度を高くする
- ・不鮮明な部分に描き加える
- ・原稿の一部が黒くて潰れている場合はペイントツールや修正テープなどで消し、制作必要な箇所を書き足してください。

壁・扉・設備の形状や文字などが不鮮明で判読できません。

建具の種類がわかるようにする

階段

設備と文字を書き足し、位置と設備種類がわかるようにする

浴槽

文字が潰れている場合は、文字を書き足す

床下収納

黒く見えにくい箇所は、ペイントツールや修正テープで消し、必要箇所を書き足してください。

パターン②: 写真の原稿、折れ目・歪みのある原稿

問題点 原稿から文字や設備の形状が読み取れません。

改善案

- ・元の原稿をスキャンする
- ・手書き原稿作成 (方眼紙に定規を仕様して作成)

折れや歪みのため、縦横比が変わります。線が曲がっているためトレースできません。

線が真っすぐなものを準備する

パターン③: 切れている・不完全・2枚に分かれた原稿

問題点 間取りの一部が切れていたり、複数枚に分かれていて一部が消えているとトレースできません。

改善案

- ・制作対象範囲が1枚に収まるようにする。
- ・1枚に繋げて、切れた部分に詳細を描き加える。

パターン④: フリーハンドで手描きの原稿

問題点 上下階の縮尺が合わない、直線のつもりで書いていても斜めになっていることがあり、正確なトレースができません。

改善案

方眼紙に定規を使用して描いてください。戸建の場合は、上下階の縮尺が合うように描いてください。

制作可能な手書き原稿例

方眼紙に定規でまっすぐな線を描いている

建具の形状やサイズが確認できる

パターン⑤: 複数参照

問題点 トレース (なぞり書き) の制作技法上、参照しての制作ができません。また写真を参照することもできません。

改善案

- ・反映したい内容を1枚にまとめて図示
- ・原稿に不要な部分はペイントツールや修正テープなどで消し、制作必要な箇所を書き足してください。

「右の間取り図を参考して左の間取り図を描いてください」✕

「写真を参考して階段を書いてください」✕

追記

ケース⑥: 指示内容不明

問題点 コメントのみで「車配置」「反転」などのご指示では配置方法や反転方法がわかりません。原稿のみUPで指示しない場合も対応できません。

改善案

配置する箇所・大きさ・向きを図示してください。反転であれば左右反転か上下反転かの明確な指示をしてください。

指示内容不明コメント例

「土地に間取り図を入れて制作してください」

「車も配置してください」

車の台数、配置が不明

間取り図の配置が不明

追記

その他原稿不良例

種類	NG 依頼例	問題点	改善案
仕様違反	洋室の色を変えてほしい。色をつけてほしい。フォントを変えてほしい。	色やフォントは会社毎に仕様が決まっています。	社内でご確認いただき、全体の仕様を変更をご希望の場合は、対応致します。但し変更仕様が掛かる場合があります。
原稿なし 原稿破損 P W あり	_____	・原稿ファイルの破損 ・原稿ファイルにパスワードがかかっている ・ご依頼内容と無関係の書類アップロード	ご依頼原稿の状態をご確認をお願いします。
地図注文書不足	_____	制作範囲をシステムでご依頼する「地図ボタン」ではない地図の制作依頼には、必ず注文書が必要です。	_____
他社制作物の修正依頼	_____	他社制作物の修正はできません。	新規制作依頼で対応可能な部分につき制作します。